

Science Art Gallery

ミス・ドーナツ



幾何学では中空ドーナツをトーラスと呼びます。円と同じ平面上でその円の外を通る直線のまわりに、その円を1回転したときにできる立体がトーラスです。トーラスはうまくえらんだ平面と交わるときには、その切り口に円ができる場合があります。図表の1や2のようにすぐ見つかる場合もありますが、3のような意外なことも起こります。そのことをヒントにしてデザインした半トーラスが、魅力的な形だったので、あるドーナツ屋さんの名前をマネて「ミス・ドーナツ」と名付けました。鏡の前の自分と鏡の中の姿の関係のように、互いに裏返しの関係にある2つの形を作りました。これらはコンピュータ制御で石膏を接着剤で固めたものです。(表紙の写真は鏡で映したミス・ドーナツ)

	1	2	3
トーラスの切り方			
切り口に現れる円			
上側を取り去ると			
3の切り口では、2つの円とも「アナの部分」をふくんでいます。			

小川 泰・手嶋吉法